



証券コード:7840

フランスベッドホールディングス株式会社

**平成28年3月期 第2四半期決算説明会**

平成27年12月1日

<http://www.francebed-hd.co.jp/>



FRANCEBED HOLDINGS

**I・平成28年3月期 第2四半期  
連結決算とセグメント別の概況**

**II・平成28年3月期  
下期の取り組みと通期の連結業績見通し**

**メディカルサービス事業**

**インテリア健康事業**

**III・中期経営計画の概要と進捗状況について**

**IV・今後の主な取り組みについて**

**I・平成28年3月期 第2四半期  
連結決算とセグメント別の概況**

# 平成28年3月期 第2四半期 連結決算業績概要

- **連結売上高** 前年同期比 +2.8% **7億1百万円の増収**
- **連結営業利益** 前年同期比 +48.9% **3億92百万円の増益**

(百万円)

	平成27年3月期 第2四半期		平成28年3月期 第2四半期				前年 同期比 増減率	当初 計画 達成率
	実績	構成比	当初 計画	構成比	実績	構成比		
売上高	24,949	100.0%	25,500	100.0%	<b>25,651</b>	100.0%	2.8%	100.5%
売上原価	13,029	52.2%	—	—	<b>13,438</b>	52.3%	0.1P	—
売上総利益	11,919	47.7%	—	—	<b>12,213</b>	47.6%	2.4%	—
販管費	11,117	44.5%	—	—	<b>11,018</b>	42.9%	△0.8%	—
営業利益	802	3.2%	940	3.6%	<b>1,194</b>	4.6%	48.9%	127.0%
経常利益	799	3.2%	910	3.5%	<b>1,176</b>	4.5%	47.1%	129.2%
四半期 純利益	372	1.4%	520	2.0%	<b>656</b>	2.5%	76.5%	126.2%

■ **1株当たり四半期純利益 15.42円**

(注) 当社は、平成27年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。  
前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

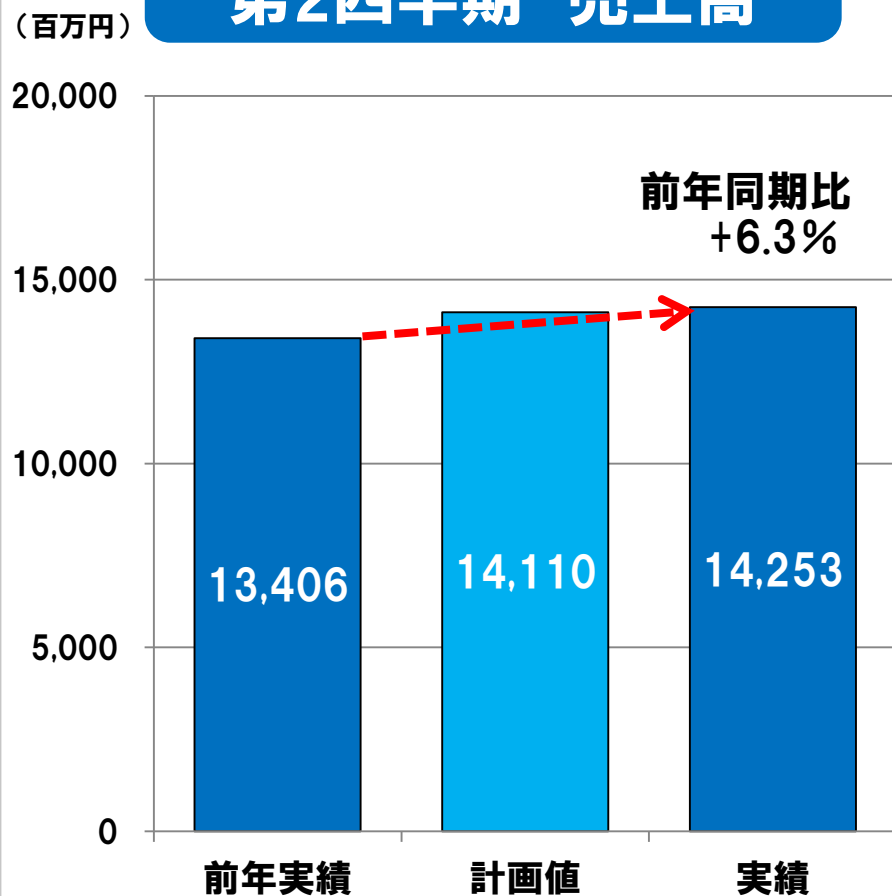
# 平成28年3月期 第2四半期 セグメント別業績概況

## ■ メディカルサービス事業・インテリア健康事業ともに増益

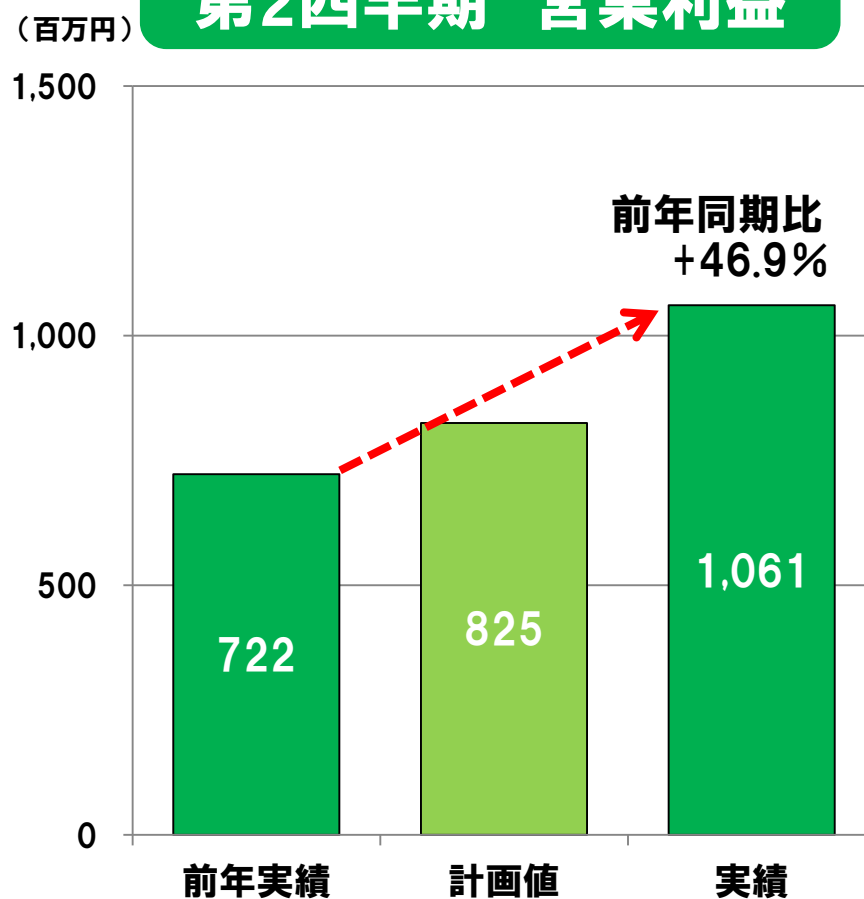
(百万円)

		平成27年3月期 第2四半期		平成28年3月期 第2四半期				前年 同期比 増減率	当初 計画 達成率
		実績	構成比	当初 計画	構成比	実績	構成比		
メディカル サービス事業	売上高	13,406	53.7%	14,110	55.3%	14,253	55.5%	+6.3%	101.0%
	営業利益	722	90.1%	825	87.7%	1,061	88.8%	+46.9%	128.6%
インテリア 健康事業	売上高	9,845	39.4%	9,710	38.0%	9,646	37.6%	△2.0%	99.3%
	営業利益	72	9.0%	110	11.7%	169	14.1%	+134.7%	153.6%
その他	売上高	1,697	6.8%	1,680	6.5%	1,751	6.8%	+3.1%	104.2%
	営業利益	△7	△0.9%	△10	△1.0%	△53	△4.4%	—	—
調整額	売上高	—	—	—	—	—	—	—	—
	営業利益	14	1.7%	15	1.6%	16	1.3%	+17.3%	106.6%
合計	売上高	24,949	100.0%	25,500	100.0%	25,651	100.0%	+2.8%	100.5%
	営業利益	802	100.0%	940	100.0%	1,194	100.0%	+48.9%	127.0%

### 第2四半期 売上高



### 第2四半期 営業利益

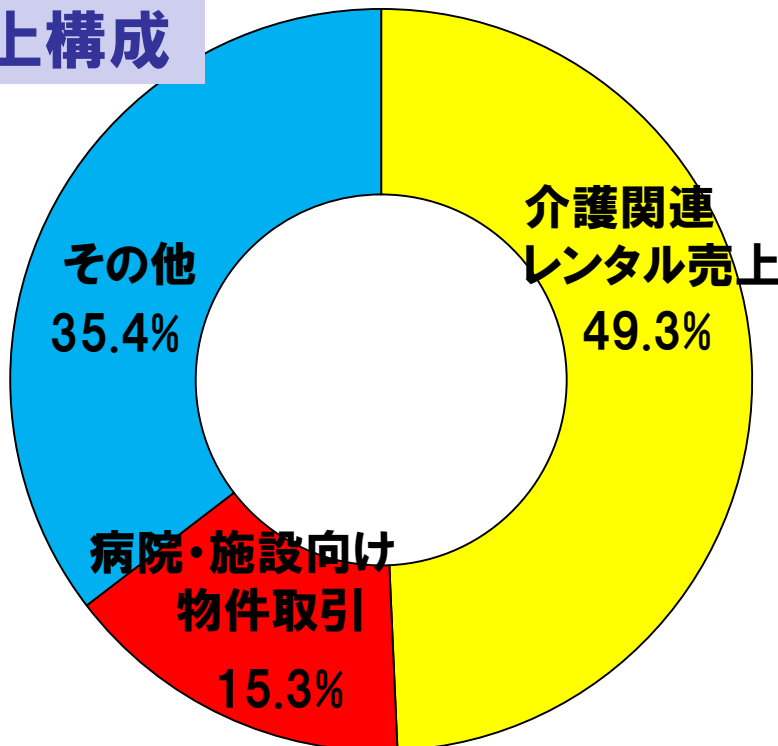


# 超低床フロアーベッドが増収を牽引

第2四半期メディカルサービス事業

売上高対前年同期比+6.3%

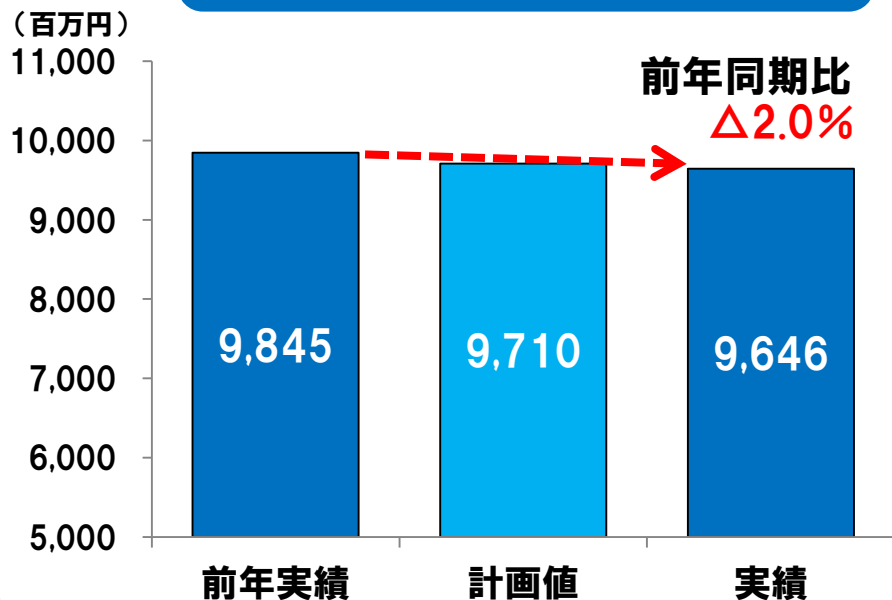
## 売上構成



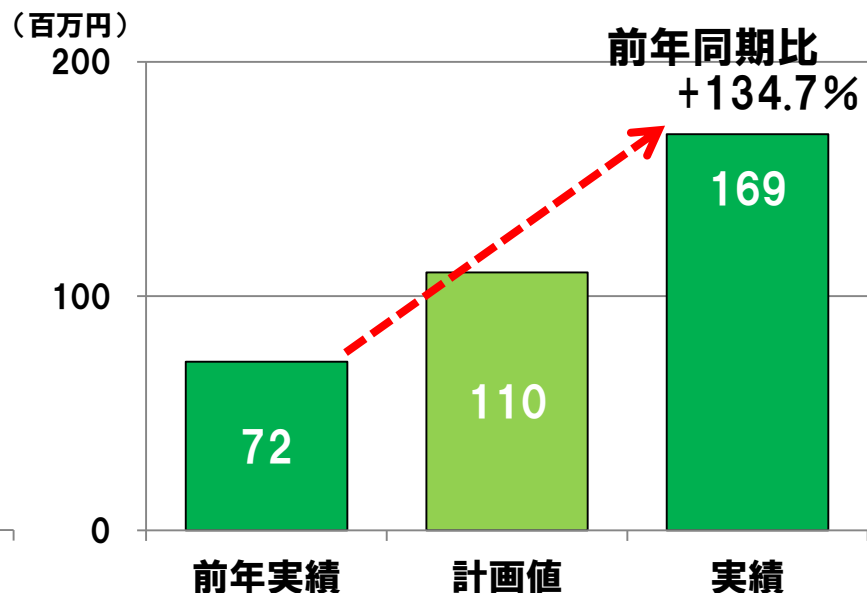
売上高対前年同期比		増収要因
介護関連レンタル売上	+5.6%	福祉用具レンタルが堅調に推移
病院・施設向け物件取引	+6.5%	付加価値の高い商品の販売に注力
その他※	+7.5%	代理店向け販売が好調に推移

※当期「その他」の売上の中には組織変更により前期に含まれていなかった金額が含まれております。

### 第2四半期 売上高



### 第2四半期 営業利益



## 売上高→前年同期比2.0%減収

- ・ホテル部門は増収となるものの家具店ルート部門が苦戦。

## 営業利益→前年同期比134.7%増益

- ・円安による仕入れ価格の上昇を価格改定により吸収。



# 連結貸借対照表

(百万円)

		平成27年 3月期末	構成比	平成28年3月期 第2四半期	構成比	増減額
資産の部	流動資産	30,843	51.9%	30,412	52.2%	△430
	固定資産	28,505	47.9%	27,750	47.6%	△755
	資産 合計	59,409	100.0%	58,213	100.0%	△1,195
負債の部	流動負債	13,524	22.7%	13,273	22.8%	△250
	固定負債	8,597	14.4%	8,238	14.1%	△359
	負債 合計	22,122	37.2%	21,512	36.9%	△609
純資産の部	株主資本	34,871	58.7%	34,435	59.1%	△436
	その他の包括利益累計額	2,415	4.0%	2,266	3.8%	△149
	純資産 合計	37,287	62.7%	36,701	63.0%	△586
負債・純資産 合計		59,409	100.0%	58,213	100.0%	△1,195

## 連結貸借対照表の状況（連結総資産は前期末比11億95百万円減少し、582億13百万円）

- ・内訳は負債の部で前期末比6億9百万円減少し、215億12百万円、
- ・純資産の部で前期末比5億86百万円減少し、367億1百万円。
- ・自己資本比率は前期末の62.7%から0.3ポイント増加し、63.0%となる。

# キャッシュ・フロー(CF)の状況

(百万円)

	営業活動によるCF	投資活動によるCF	財務活動によるCF	現金及び現金同等物増減額	現金及び現金同等物期首残高	現金及び現金同等物四半期末残高
平成27年3月期 第2四半期	1,931	△1,914	△558	△528	10,024	9,495
平成28年3月期 第2四半期	3,140	△1,634	△592	912	9,712	10,624
前年同期比較	+1,208	+279	△34	—	—	—

## ①連結CFの状況

前期末対比 現金及び現金同等物残高が9億12百万円増加、106億24百万円となる。

## ②営業活動によるCFの状況 (31億40百万円の収入)

(収入) 税前純利益 11億53百万円、売上債権の回収 14億98百万円、減価償却費(非資金項目) 18億19百万円の計上など

(支出) 仕入債務の支払い 6億22百万円、確定拠出年金(401K)への拠出 6億69百万円など

## ③投資活動によるCFの状況 (16億34百万円の支出)

(支出) 有形固定資産の取得 19億53百万円など

## ④財務活動によるCFの状況 (5億92百万円の支出)

(収入) 短期借入れ 3億円など

(支出) 自己株式の取得 6億11百万円、配当金の支払額 4億82百万円など

# 設備投資について

(百万円)

		平成27年3月期 通期実績	平成28年3月期 第2四半期実績	平成28年3月期 下期計画	平成28年3月期 通期計画
設 備 投 資 額	レンタル資産	2,690	1,590	1,645	3,235
	工場生産・物流設備	430	492	412	905
	ソフトウェアの取得	239	40	34	75
	その他	168	73	62	135
	合計	3,528	2,196	2,154	4,350
減価償却費		3,638	1,819	1,936	3,756

## 主な設備投資実績および計画

### 平成28年3月期 第2四半期実績

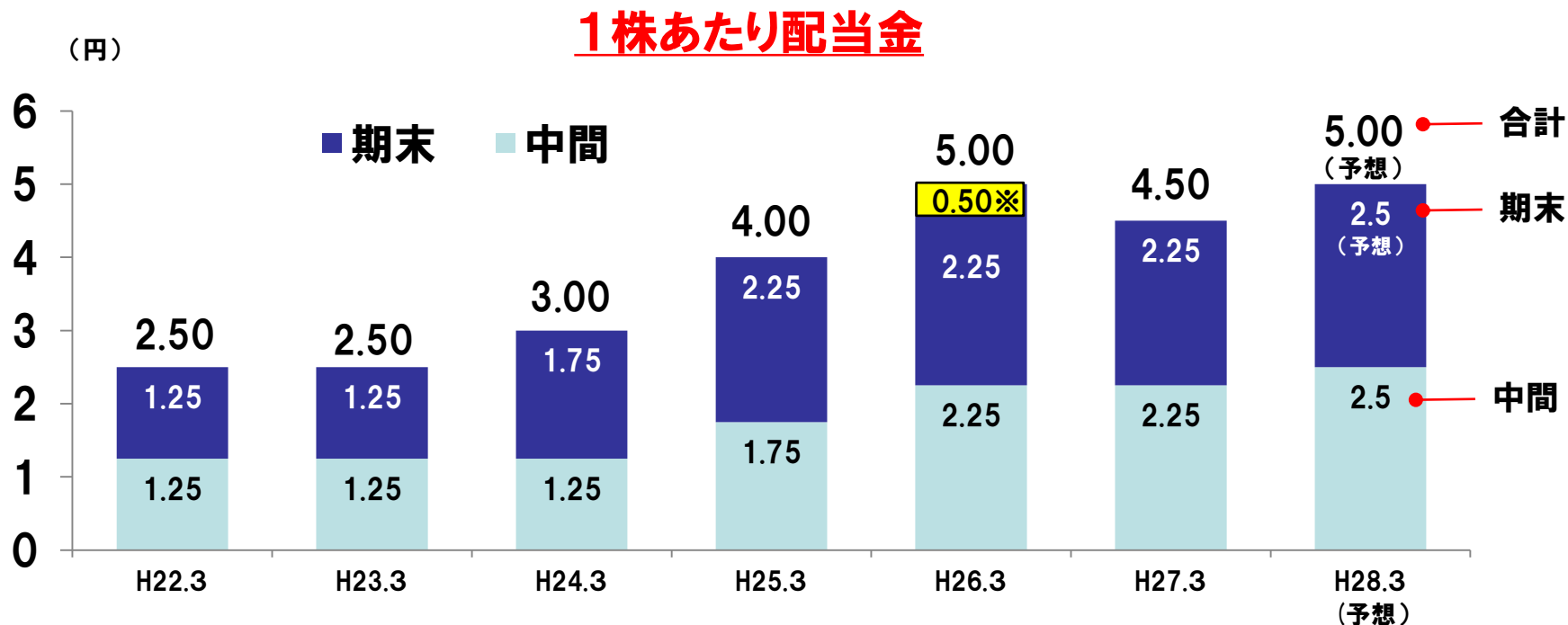
- レンタル資産取得： 1,590百万円(メディカルサービス事業) (前年同期比 +254百万円)

### 平成28年3月期 通期計画

- レンタル資産取得： 3,235百万円(メディカルサービス事業) (前期末比 +545百万円)

# 配当について

## 1株あたり配当金の推移



## 安定的な配当を継続

平成27年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しました。

併合後の1株あたりの期末配当予想額は12.5円となります。

※：平成26年3月期の期末配当金2円75銭の内訳は、普通配当2円25銭 創立10周年記念配当0円50銭。

## 機動的な自社株買いの実施

### 【直近5期の自己株式取得実績】

	第9期	第10期	第11期	第13期(上期)
	平成24年 3月期	平成25年 3月期	平成26年 3月期	平成28年 3月期
取得株式数 (千株)	7,650	1,872	4,200	3,594
取得総額 (百万円)	1,012	312	852	611

### 【決議内容】※1

	第13期
買付期間	平成27年11月 ～平成28年1月
取得株式数 上限 (千株)	1,000 ※2
取得総額 上限 (百万円)	1,000

※1 平成27年10月30日開催の取締役会にて決議された自己株式の取得に関する決議内容。

※2 平成27年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。上記の取得株式数上限は、当該株式併合後の株式数を表示しております。

## II・平成28年3月期

### 下期の取り組みと通期の連結業績見通し

メディカルサービス事業

インテリア健康事業

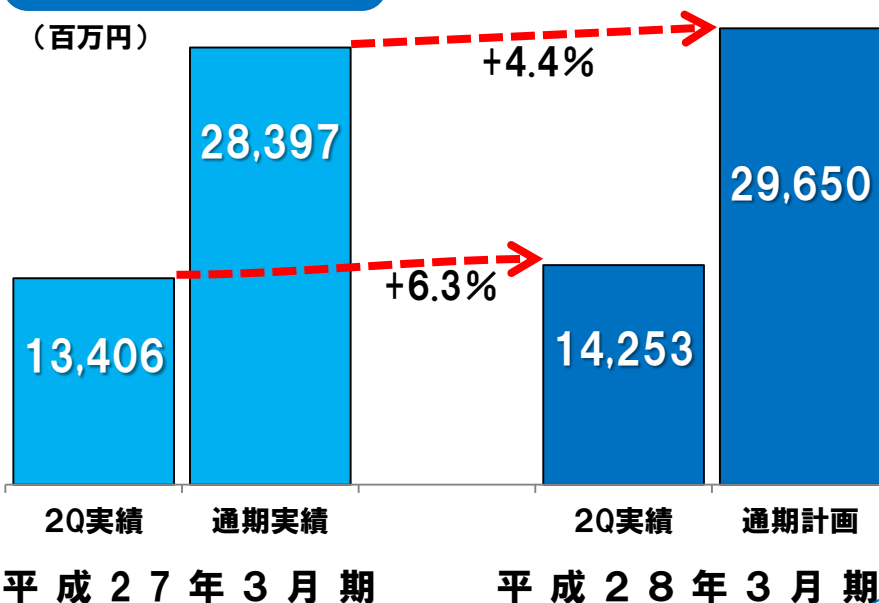
**II・平成28年3月期**

**下期の取り組みと通期の連結業績見通し**

**メディカルサービス事業**

## 売上高

(百万円)



## 平成28年3月期計画

**売上高: 296億5千万円**

(前年比4.4%増)

**営業利益: 17億8千万円**

(前年比7.1%増)

## 主な施策

### ①介護関連レンタルのシェア拡大

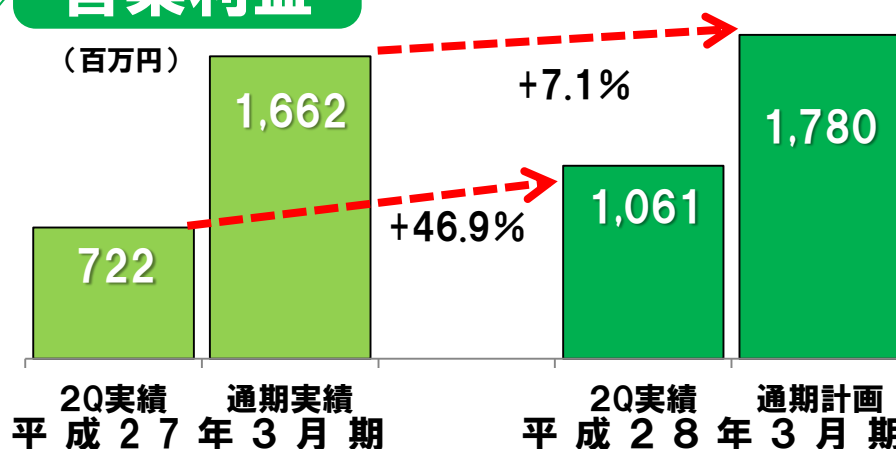
- ・これまでに投入した新商品の売上獲得に注力。
- ・フロアーベッドを武器に引き続き代理店を開拓。

### ②リハテックの事業拡大に注力

- ・リハテックショップを併設した営業拠点の増設。

## 営業利益

(百万円)





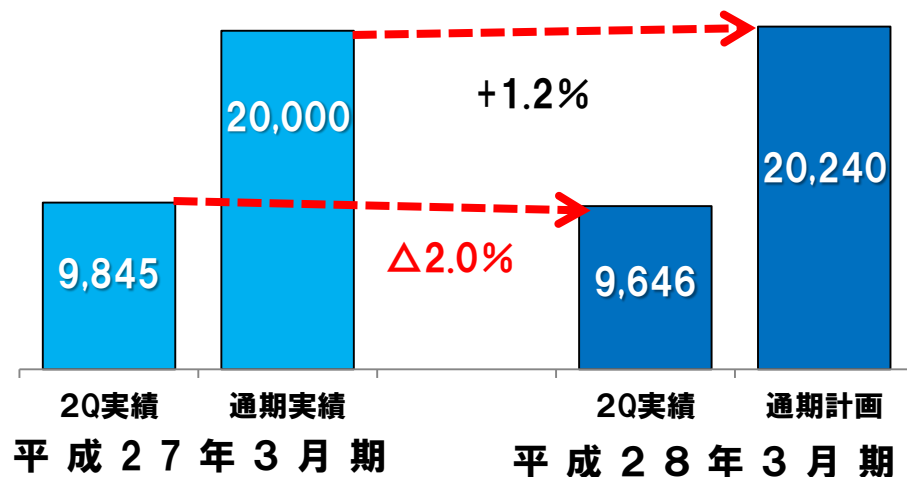
### III・平成28年3月期

## 下期の取り組みと通期の連結業績見通し

### インテリア健康事業

## 売上高

(百万円)



## 平成28年3月期計画

**売上高: 202億4千万円**

(前年比1.2%増)

**営業利益: 3億2千万円**

(前年比223.2%増)

## 主な施策

### ① 高機能、高付加価値商品の販売

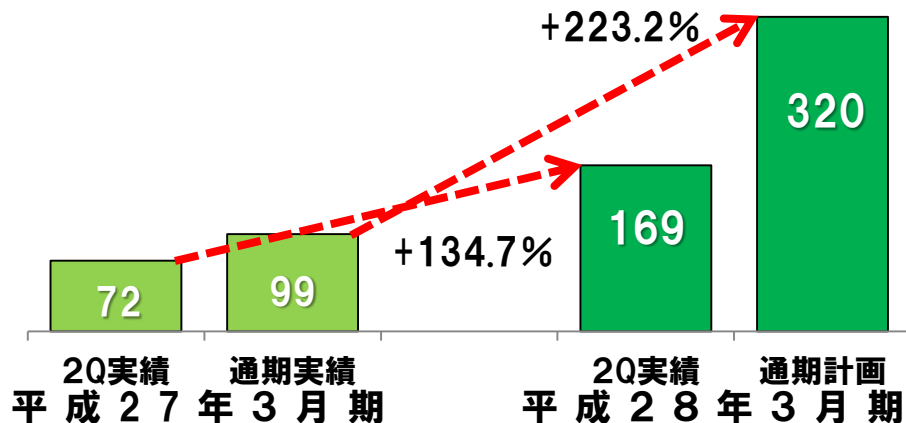
・受注生産システムの確立。

### ② アクティブシニア向けの「リハテック」 ブランド商品の売場拡大

・異業種に対するリハテックコーナーの  
設置を促進し、新たな販路を開拓。

## 営業利益

(百万円)



# 平成28年3月期 通期の連結業績見通し

(百万円)

	平成27年3月期 実績 (H26.4~H27.3)	平成28年3月期 計画値 (H27.4~H28.3)	比較増減	
			額	率
売上高	51,907	53,500	1,592	3.0%
営業利益	1,723	2,200	476	27.6%
経常利益	1,745	2,150	404	23.1%
当期純利益	904	1,100	195	21.5%

通期セグメント別		平成27年3月期 実績	平成28年3月期 計画値	比較増減	
				額	率
メディカルサービス事業	売上高	28,397	29,650	1,253	4.4%
	営業利益	1,662	1,780	118	7.1%
インテリア健康事業	売上高	20,000	20,240	240	1.2%
	営業利益	99	320	221	223.2%
その他	売上高	3,508	3,610	102	2.9%
	営業利益	△ 66	45	111	-
調整額	売上高	-	-	-	-
	営業利益	28	55	27	96.4%
連結合計	売上高	51,907	53,500	1,592	3.0%
	営業利益	1,723	2,200	476	27.6%

## III・中期経営計画の概要と進捗状況について

## ●中期経営計画の基本方針

### 中期経営計画（平成28年3月期～平成30年3月期）

本格的な高齢社会で求められるニーズに対応するため、  
グループが保有する経営資源を集中させ、  
シルバービジネスの更なる強化と  
積極的な展開を図ることにより、  
**「グループ総体としての企業価値の最大化」**を目指す。

## ●中期経営計画の成長戦略

### ①得意分野の強化

- ✓ 福祉用具貸与事業を中心とした介護事業の深耕

### ②新たな収益機会の獲得

- ✓ 介護保険制度に過度に依存しない収益基盤作り

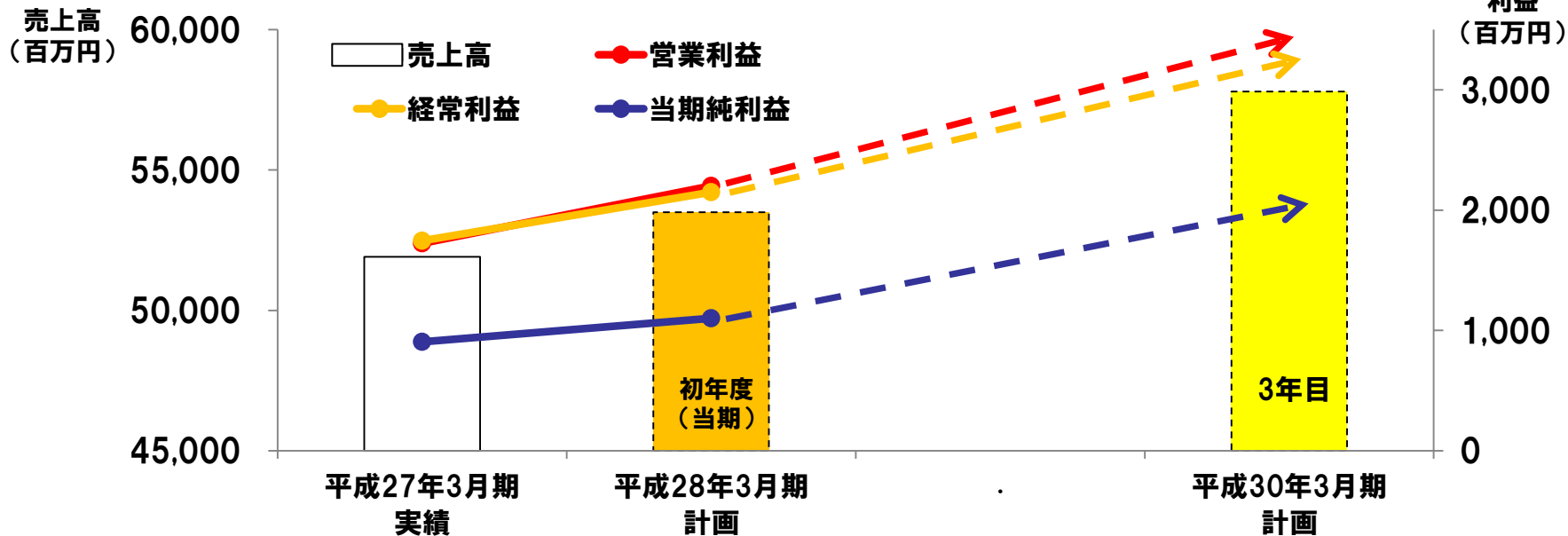
### ③安定的に収益を確保できるビジネスモデルへの転換

- ✓ インテリア健康事業の収益性の改善

### ④経営基盤の強化

- ✓ 人材育成
- ✓ コーポレートガバナンスの強化

## ●中期経営計画 連結数値目標



	平成27年3月期 (実績)	平成28年3月期 (計画)
売上高(百万円)	51,907	53,500
営業利益(百万円)	1,723	2,200
経常利益(百万円)	1,745	2,150
当期純利益(百万円)	904	1,100
1株当たり当期純利益(円)(注)	21.1	25.6
自己資本当期純利益率(ROE)	2.4%	2.9%

平成30年3月期 (計画)
57,800
3,450
3,400
2,000
46.6
5.1%

(注) 平成27年10月1日付で実施された株式併合(普通株式5株を1株に併合)を考慮した金額となります。

## IV・今後の主な取り組みについて



# 今後の主な取り組みについて ～高齢者マーケット～

## ●今後日本の高齢者の推移

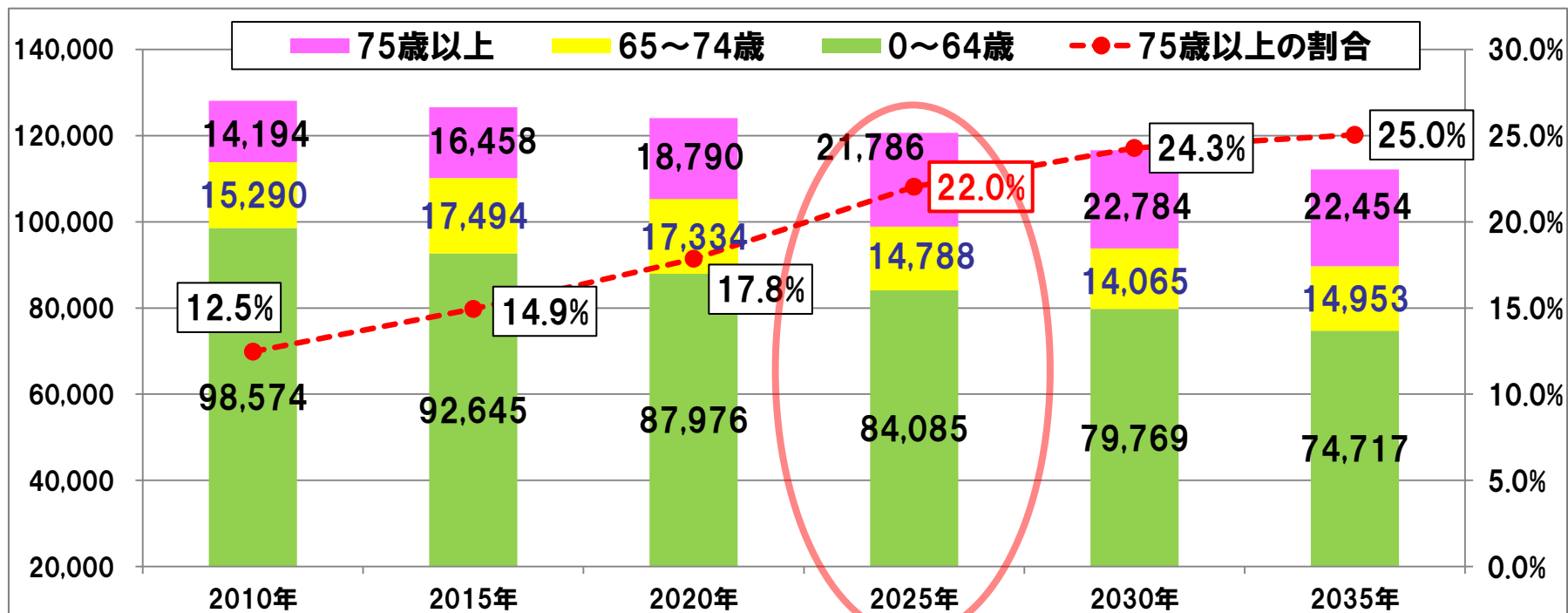
### 日本はこれから本格的な超高齢社会に突入します

- ・75歳以上人口は、2025年には全人口の約22%に到達。
- ・高齢者の増加は2030年頃まで続く。

【年齢区分別将来人口推計】

総人口(千人)

割合



資料:2010年は総務相「人口推計」(2014年10月1日現在、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(2012年1月推計)」出生中位・死亡中位仮定による推計結果

## ターゲット

75歳以上の元気な高齢者

拡大するシルバーマーケットに対して、介護保険に過度に依存しないシルバービジネスの展開を目指す。

リハテック  
*Reha tech* を中心とした取り組み

## 販路

- ・ 当社直営の「リハテックショップ」でビジネスモデルを構築
- ・ 新規異業種などへ「リハテックコーナー」設置を促進

## ●直営店(リハテックショップ)の概要

リハテック  
**Reha tech**

### ご高齢者の方が徒歩で来店できる店舗

- ・郊外店ではなく、駅の近くや商店街の中にある路面店  
(徒歩2～3km圏内)
- ・都市圏よりも地方都市  
(高齢者の割合が高い商圈)



### 営業所と併設し地域密着度を高める

直営店(リハテックショップ)現在7店舗※展開中  
大阪(枚方・池田・天六)、東京(新宿)、和歌山、広島、名古屋

今後、平成30年3月期末までに計30店舗を展開予定

# 今後の主な取り組みについて ～リハテック戦略～

## ●直営リハテックショップ展開店舗

## リハテック Reha tech



## ●新規異業種へ「リハテックコーナー」の推進

リハテック  
**Reha tech**

家具店や福祉用具代理店の他、家電量販店・ドラッグストア・ガス販売業者などの新規の異業種に対して「リハテックコーナー」の展開を促進し販路の拡大を図る。直営店(リハテックショップ)のノウハウをビジネスモデルとして提供

リハテックコーナー : 現在36店舗※展開中

今後、平成30年3月期末までに計100店舗を展開予定

# 今後の主な取り組みについて ～リハテック戦略～

## ●実際のリハテックコーナー 事例

## リハテック Reha tech



# 【リハテックショップ & コーナー 展開商品群と価格帯】



多機能  
リクライニングベッド



超低床フローアベッド



電動三輪車いす  
スマートパル



電動アシスト  
三輪自転車



マッサージチェア



リクライニングベッド

高単価

40万円

30万円

20万円

リハテック  
**Reha tech**

を中心とした商品ラインナップ



光る杖 ～2万円



円背チェア



シルバーカー  
～3万円

杖

10万円以下



靴  
～2万円



耳当て式助聴器  
～2万円



KA-01-1



KA-01-2



KA-01-3

ループ各種～1万円

寝装品・便利グッズ・その他  
持ち帰り品 ～1万円

低単価

今後の主な取り組みについて  
～リハテック戦略の新商品～

# マルチファンクションリフトアップチェア 01

移動ができる。  
そのままダイニングチェアとしても使える  
今までにない車いす。

リハテック  
**Reha tech**

介護保険対象商品

- ◇ 移動に便利な大型キャスター付き
- ◇ 充電タイプ
- ◇ 立ち、座りをやさしくサポート



購入

321,840円(税込)

介護  
レンタル

利用者負担1割の場合  
1,404円/月

一般  
レンタル

14,040円/月



# 「電動リフトアップ車いす」

リハテック  
**Reha tech**

## 介助者の腰痛対策をサポート



リモコン操作で座面が昇降します。



バッテリー仕様

2015年末 発売予定

# 今後の主な取り組みについて ～リハテック戦略の新商品～(認知症の方向け)

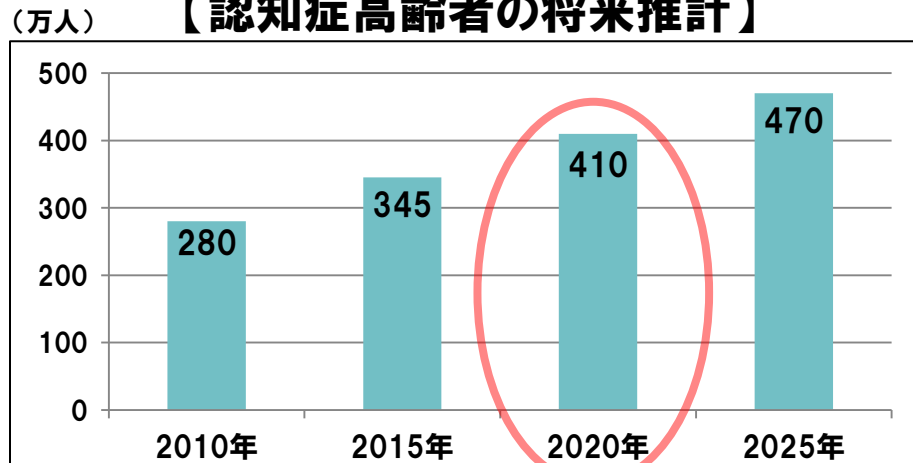
## ●認知症について

- ・要介護認定データによる認知症高齢者数は2010年9月末で約280万人。
- ・2020年には、認知症高齢者が400万人を超えると推計されている。

【認知症高齢者の居場所内訳】



【認知症高齢者の将来推計】



資料:厚生労働省老健局「都市部の高齢化対策の現状」(2013年5月20日「都市部の高齢化対策に関する検討会」資料より抜粋)  
認知症高齢者は、「認知症高齢者の日常生活自立度」II以上の高齢者数。

**認知症患者の方は今後ますます増えていくことが予想されており、  
本人はもちろん、介護するご家族や介助者の方も大変です。**

今後の主な取り組みについて  
～リハテック戦略の新商品～(認知症の方向け)

# 超低床リクライニングベッド「フローアーベッド」

リハテック  
**Reha tech**

万が一のベッドからの転落時も、

介護保険対象商品

おふとんの高さなら安心です。

昼は高く、夜は低く  
「**超**低床フローアーベッド」



介護レンタル用  
**FLB-03J**

購入

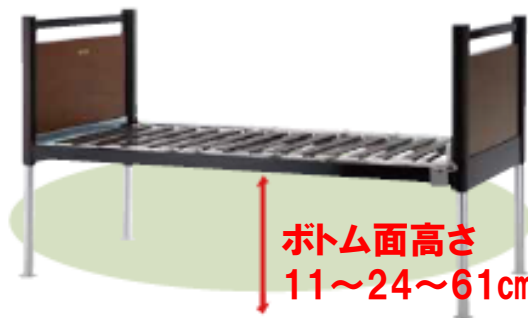
459,000円～(税込)

介護  
レンタル

利用者負担1割の場合  
1,440円～/月

一般  
レンタル

14,400円～/月



ボトム面高さ  
11～24～61cm

# 今後の主な取り組みについて ～リハテック戦略の新商品～(認知症の方向け)

## 認知症外出通報システム

おでかけ キャッチ

リハテック  
**Reha tech**

介護保険対象商品

何も持たない・負担をかけない  
逆転の発想から生まれた認知症外出通報システム



購入

224,640円～(税込)

介護  
レンタル

利用者負担1割の場合  
864円～/月

一般  
レンタル

8,640円～/月

- ◇ 認証キーをもたないご利用者本人が通過した際にセンサーが反応。
- ◇ 認証キーをもった介護者やご家族が通過した場合には反応しません。
- ◇ ご利用者の意志を尊重しながらご家族・介護者の負担を軽減します。

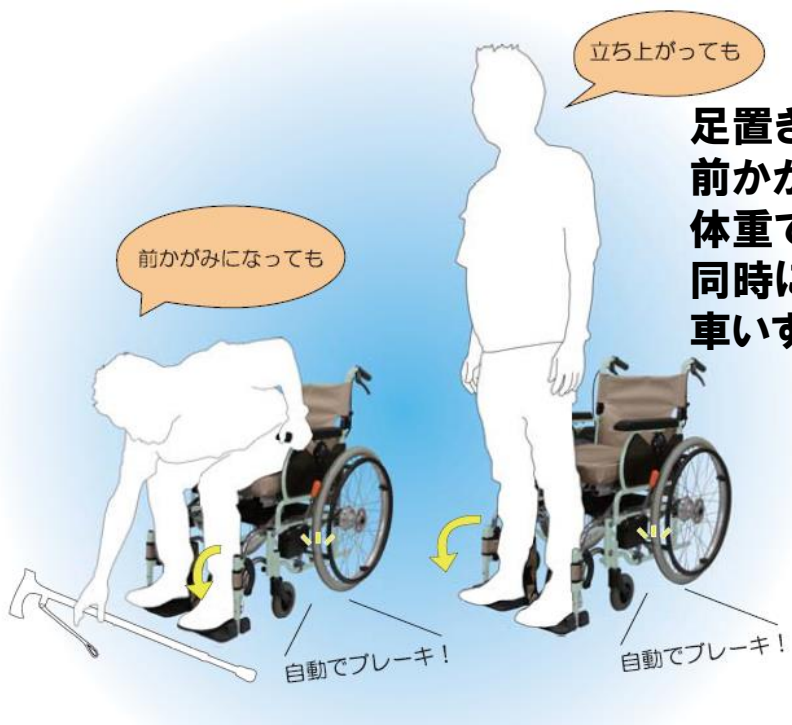
今後の主な取り組みについて  
～リハテック戦略の新商品～(認知症の方向け)

リハテック  
**Reha tech**

## 「前後安全車いす」

前にも転ばず、後ろにもひっくり返らない「転ばない車いす」

世界初 車いすからの転倒事故を防ぐ新機構



足置きの上で立ち上がったり、  
前かがみになると、  
体重で足置きが下がり、  
同時にブレーキ！  
車いすごとの転倒を防ぎます。

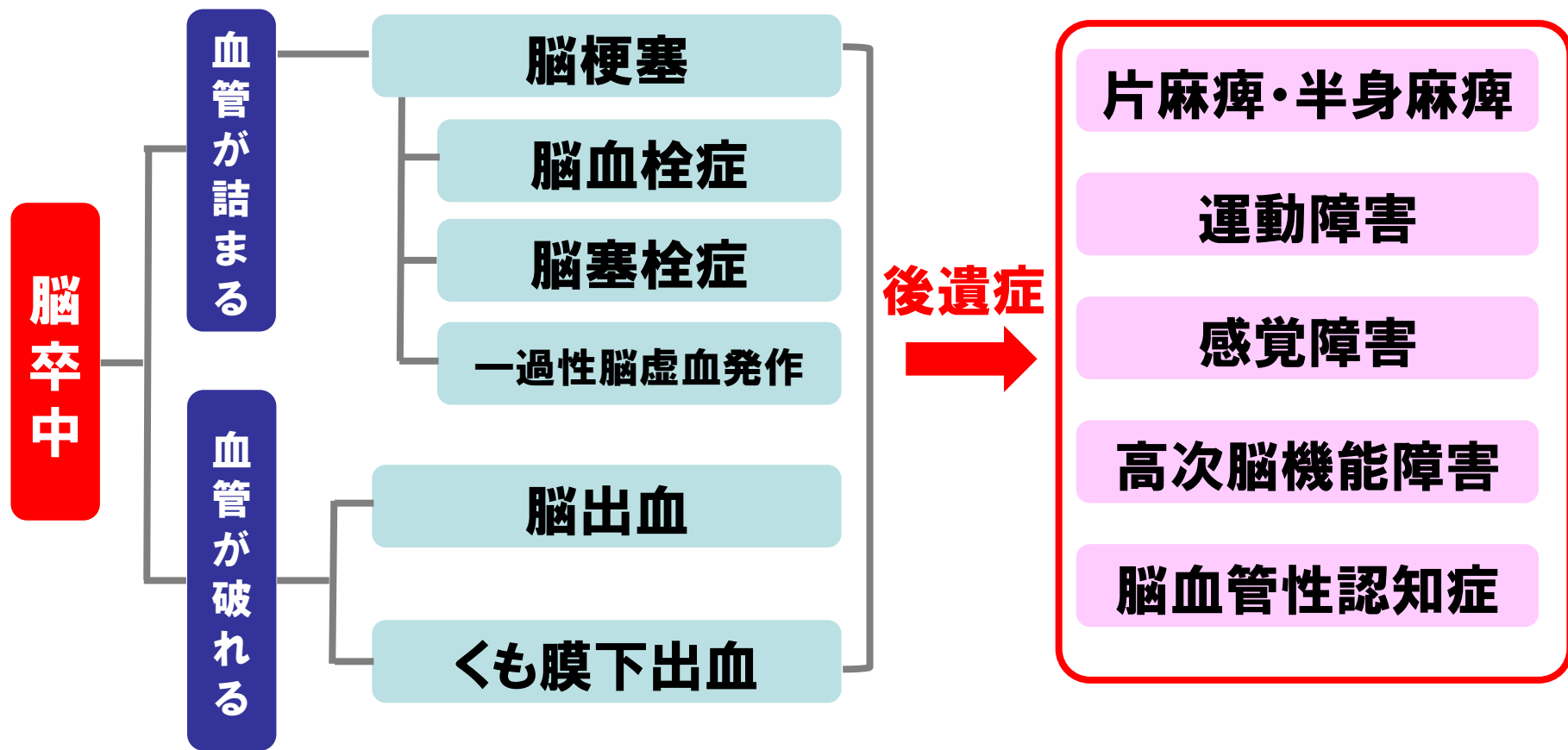


2016年春 発売予定

# 今後の主な取り組みについて ～リハビリのための新商品～

## ●リハビリテーションを必要とされる方について

- ・脳出血や脳梗塞などの脳卒中の総患者数は約123万人。(注)
- ・脳卒中を発症した方の約6割は何らかの後遺症が残ります。



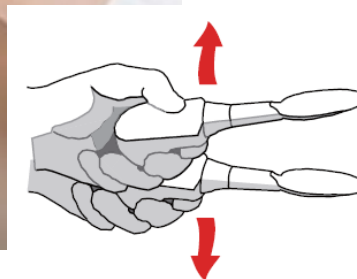
(注)厚生労働省「2011年 患者調査の概況」より

今後の主な取り組みについて  
～リハビリのための新商品～

## 手の震えを軽減し食事を楽しめる「リフトウェア」

震える手でももう大丈夫。  
リフトウェアがお食事をお手伝いします。

LIFTWARE



購入

47,520円(税込)



# 質疑応答



**（問合せ先）**

総務室長 原田正裕 Email: ir@francebed-hd.co.jp

広報課長 黒須和伸 同上

**（将来見通しに関する注意事項）**

本日のプレゼンテーションの中には、弊社の予想、確信、期待、意向および戦略など、将来の予測に関する内容が含まれています。これらは、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性など様々な要因によって、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なってしまいう可能性があります。弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。

上記の不確実性および変動の要因としては、以下に挙げる内容を含んでいます。

また、要因はこれらに限定されるわけではありません。

- 主要市場における経済情勢および需要・市況の変動
- 主要市場における政治情勢や貿易規制等各種規制
- 為替相場の変動
- 競争企業の製品・サービス、価格政策、アライアンス、M & Aなどの事業展開
- 弊社の提携関係に関する提携パートナーの戦略変化
- 原価低減や設備投資を計画通り実施する弊社の能力
- 新製品を開発し市場へ投入する弊社の能力